野菜の展望

今月は本格的な秋冬野菜の出荷時期を迎えます。今年度に於いては、特に関東エリアで 9 月期に度重なる台風や集中豪雨、長期的な日照不足等の天候から、露地野菜のレタス・白菜・キャベツ・大根・人参等は作柄の良くない品目も散見されます。ただし秋冬作産地への移行後は秋冬露地作を中心に、安定した入荷が見込まれています。根菜類の大根は上旬まで石川産、中旬以降千葉産中心へと切り替わりますが、大雨の影響から入荷は少ない見込みです。加賀野菜のひとつでもある、打木源助大根は連日入荷の予定です。人参は上旬まで北海道産中心の入荷となりますが、中旬以降は石川・富山・岐阜産が入荷します。各産地共に、播種期の猛暑・大雨の影響から作柄悪く、11 月は少なめの入荷見込みです。年内小かぶは金沢市砂丘地産が個人物主力にゆるやかに増加する見込みです。蓮根・甘藷については石川産を中心に茨城産の入荷となり、甘藷は大玉傾向となります。里芋については福井産を中心に各産地からの出回りがあり、石川産も少量ながら入荷があります。北陸地区は若干の小玉傾向が見られます。

果菜類では、胡瓜が上旬まで石川・群馬・高知産、中旬より高知産中心に切り替わり、下旬より愛知産が加わります。南瓜は北海道産が中旬まで、下旬より石川産の抑制物の入荷となります。輸入については後半からニューカレドニア産の入荷があります。茄子は高知産主体で、長茄子は熊本・福岡産で全体的に安定した入荷が見込まれます。トマトは石川・愛知産の入荷ですが、残暑の影響が残り不安定な入荷となる見込みで、石川産は徐々に減少に向かいます。ミニトマトは北海道産が上旬まで、中旬以降は愛知産主体に順調な入荷となる見込みです。ピーマンは高知産主体に鹿児島産の入荷で、比較的安定した入荷が続くと思われます。

葉茎菜類の白菜は石川・茨城産の入荷となります。キャベツは愛知産主体に石川産の出回りがあります。葱は北海道産の束物、石川・長野・埼玉産の入荷があり、石川産は平年並みの入荷が見込まれます。小松菜は石川・福岡・関東産の入荷です。ブロッコリーは石川産を中心に長崎等の九州産の入荷となります。

菌茸類の椎茸は石川産を主体に徳島・富山・兵庫産等の菌床物の入荷で、需要期を迎えて数量は増量となります。えのき・なめこ・しめじ・舞茸等のきのこ類については、各農協の系統物や企業物（ホクト・雪国・ミスズライフ）を含めて、生産コストの増大と再生産価格の維持の為、入荷の少ない状況が続きそうです。季節物の松茸は地物の石川産が中旬でほぼ終了すると見込まれ、同様に中国産も中旬にて終了予定となっています。アメリカ産については例年通りで 12 月までの入荷が予定されています。

土物類では馬鈴薯・メークインが北海道産の入荷です。産地によって作柄は大きく変わるものの、北海道統合で平年作よりやや少ない出荷見込みです。玉葱については北海道産の入荷ですが、不作であった昨年に比べ平年並みに回復しており、大玉主力の入荷が見込まれます。長芋は北海道産主力の入荷となります。青森産は近年出荷量が減少しており、入荷は不透明となっています。牛蒡は青森産中心の入荷を予定しています。生姜は高知･中国産に加え石川産の新生姜の入荷があります。今年度の高知産囲生姜は潤沢にあり、特売対応も可能です。

今月は各産地より秋冬野菜が潤沢に出回る月となります。各種のイベントに合わせた企画立案による販売拡大にご協力をお願いいたします。

《取締役　嶋田　亮》

果実の展望

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、秋冬果実は本格的な出回りシーズンを迎えます。

今月の果実は主力品目であるみかんが極早生みかんから早生みかんへと切り替わる時期となり、福岡・長崎・和歌山・愛媛等の各産地から入荷があります。玉流れについてはS玉中心になると予想されます。

柿については能登町・かほく市を中心に金沢近郊の内川・浅川地区等から、さわし柿・渋柿・甘柿の入荷、岐阜・奈良産の富有柿の入荷予定となります。

りんごはシナノスイートからサンふじの出荷リレーとなっていきます。他にジョナゴールド・トキ・ぐんま名月といった品種も加わり、青森・長野・山形等の各産地からの入荷となります。

ブドウ類は長野産の露地作やシャインマスカット等の入荷があり、入荷量については前年よりやや増加すると予想されます。

瓜類では静岡産のマスクメロンと高知産のアールスメロン等が出回ります。高温の影響は少なく、前年よりやや多い入荷となります。

苺は愛知産を中心として、中旬からの入荷になると予想されます。

洋梨は山形産のラ・フランス中心の入荷で、16玉の小玉中心の玉流れとなります。

輸入果実のバナナはフィリピン産と南米産の入荷で、各産地ともに順調な入荷が予想されます。価格については保合を見込んでいます。オレンジはオーストラリア産が中心でネーブル種、バレンシア種の取り扱いで72玉、88玉が中心となります。グレープフルーツはチリ産・メキシコ産の入荷で併売となります。レモンはチリ産中心の販売で、次のアメリカ産は12月中を予定しています。パインはフィリピン産スウィーティオ種の順調な入荷が予想されます。キウイフルーツは、ニュージーランド産ゴールドは中旬、グリーンは下旬に終売となります。その他にパパイヤ・アボカド・マンゴー・ザクロ・ペルー産シードレス（種無）等が順調に入荷します。

以上、今月も尚一層の拡販を宜しくお願い致します。

《取締役　荒木　智》